

## 「世間と人権——共存は可能か？」

### はじめに

- ・問いの起点—— 3つの事例から
- ・世間と人権は水と油か？

### 1. 阿部謹也の世間論——ヨーロッパとの対比から

- ・「世間」とは日本における古い形の「公共性(publicity)」
- ・封建的公共性から市民的公共性へ
- ・「世間」と「社会」の違い
- ・日本的「公共性」としての「世間」
- ・「世間」における「個人」ないし「自分」（あるいは「分人」）
- ・「世間」論からみた日本宗教
- ・日本近代と「世間」
- ・「世間」の人権観——「自由」をめぐって

### 2. 日本人の「宗教」としての「世間教」

- ・「世間教」とは？
- ・「世間教」の4つの教義
  - 1) 「お返し」ルール
  - 2) 「身分制」ルール
  - 3) 「みんな同じ」ルール
  - 4) 「呪術性」ルール

（佐藤直樹『「世間教」と日本人の深層意識』さくら舎、2022年。）

- ・「世間」の「聖性」
- ・世間の「宗教」としての「習俗」（「慣習」）
- ・日本における「宗教」のダブルスタンダード
- ・「見えない宗教」としての「世間教」

### 3. 日本における「世間教」と「人権教」

- ・「人権教」について考える
- ・「宗教」とは何か？

「神または何らかの超越的絶対者、あるいは卑俗なものから分離され禁忌された神聖なものに関する信仰・行事・制度。また、それらの体系。帰依者は精神的共同社会（教団）を営む。」『広辞苑』（第7版、2018年）

- ・日本の近代化と「人権教」
  - ・「宗教（信教）の自由」を巡る議論  
——歴史的背景と思想的源泉
  - ・「政教分離」をめぐる対立
- Cf.自民党による憲法改正案より

### おわりに

- ・「人権教」への「改宗」は可能か？  
——改宗のタイポロジー
- ・「人権の世間」（奥田均）が目指すもの  
——「世間」の力
- ・「世間教」と「人権教」の共存は可能か？
- ・人権の普遍性と文化的相対主義をめぐって  
e.g. 「アジア的価値観」、「カイロ人権宣言」など  
→多元主義的人権論や「人権のヴァナキュラー理論」
- ・個人主義と共同体主義のはざままで

### 【主要参考文献】

- 阿部謹也『「世間」とは何か』講談社現代新書、1995 年。  
阿部謹也『「教養」とは何か』講談社現代新書、1997 年。  
阿部謹也「日本社会の「世間」と人権」『ヒューマンライツ』120 号、1998 年。  
阿部謹也『学問と「世間」』岩波新書、2001 年。  
阿部謹也『西洋中世の愛と人格——「世間」論序説』講談社学術文庫、2019 年。  
奥田均『「人権の世間」をつくる』解放出版社、2013 年。  
鴻上尚史『「空気」と「世間」』講談社現代新書、2009 年。  
鴻上尚史、佐藤直樹『同調圧力——日本社会はなぜ息苦しいのか』講談社現代新書、2020 年。  
佐藤直樹『「世間」の現象学』青弓社、2001 年。  
佐藤直樹『「世間教」と日本人の深層意識』さくら舎、2022 年。  
マイケル・サンデル『リベラリズムと正義の限界』勁草書房、2009 年。  
筒井清輝『人権と国家——理念の力と国際政治の現実』岩波新書、2022 年。  
平野啓一郎『私とは何か——「個人」から「分人」へ』講談社現代新書、2012 年。  
宮本要太郎「宗教者たちの寄り添いとつながり——〈公共宗教学〉試論——」『現代宗教 2023』国際宗教研究所、2023 年。  
宮本要太郎「日本宗教の「公共性」を問い直す」科研報告書、2023 年。  
山本七平『「空気」の研究』文藝春秋、1977 年。